

民生部門



(白築議員)

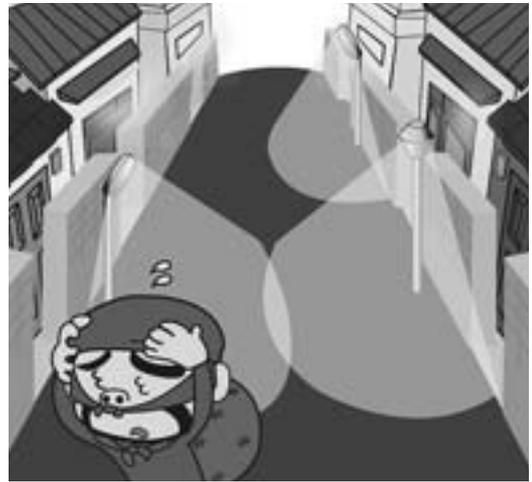
Q 街灯の整備、増設について。

A 「一戸一灯運動」を推進している。

(広田生活環境課長)

Q 日没後は町全体が暗くなり、呉から熊野に入った途端に道路が暗くなる。防犯の観点からも、街灯の整備、増設はできないか。

A 防犯灯の設置（増設も含む）や維持管理は、各自治会に委ねており、その新設（2万円を上限として8割）や電気代（6割）については「熊野町防犯灯設置等補助金交付要綱」に基づき、補助金の交付を行っている。防犯対策の面では、夜間に各家庭の門灯や玄関灯を点灯する「一戸一灯運動」の推進を図っている。



(福垣内議員)

Q 公的窓口に「活字文書読み上げ装置」の設置を。

A 十分に検討を行っていく。

(立花民生部長)



Q プライバシー情報や生活情報は、自立した生活と社会参加に欠かせない情報源だが、活字文書のままだと視覚障害者の方々が入手することは大変困難である。「活字文書読み上げ装置」の設置を。

A 国の「障害者自立支援対策臨時特例交付金事業」の実施決定に伴い、その制度を有効活用するため、現在県との協議を行っている。今後の事業計画に当っては、「活字文書読み上げ装置設置」を含め十分な検討を行い、障害者のニーズに沿った事業を行っていきたいと考えている。